

海外安全対策情報（令和6年度第3四半期）

1 社会・治安情勢

- (1) パラナ州公安局発表による犯罪資料報告によると、パラナ州における2023年の殺人事件の発生件数は、1,837件（前年比9.3%減）。クリチバ市における2023年の殺人件数は、200件（前年比24.8%減）。クリチバ市の人口10万人あたりの殺人件数は、11.3件であり、日本の0.73件を大きく上回る。
- (2) パラナ州における2023年の麻薬の密輸・密売件数は、12,243件（前年比21.2%増）、麻薬の所持・使用等犯罪件数は、13,358件（前年比50.1%増）と麻薬に関わる犯罪が増加傾向にある。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) クリチバ市を含む大クリチバ圏においては、銀行、住居、店舗及びレストラン等を狙った武装強盗のほか、車両強盗や長距離及び路線バスに対する強盗事件が昼夜問わず発生している。
- (2) パラナ州はパラグアイ国境からブラジルに流入する大量の麻薬（大麻、クラック、オキシィ等）及び銃器類の密輸入ルートとなっており、密輸組織絡みの殺人事件が頻発している。
- (3) クリチバ市内においては、銀行で現金を引き出した者を狙った強盗が頻発しているため、必要以上の現金を引き出さない等の注意が必要。

3 犯罪事例（10月～11月）

- (1) 10月17日午前1時頃、パラナ州カンドイ市の国道BR373号線を走行中の長距離夜行バス（フォス・ド・イグアス発サンパウロ行き）が強盗団に襲撃された。強盗団は、37人が乗車していた同バスを2台の車両を使って停車させ、乗客の所持品を全て奪った後、逃走した。
- (2) 11月1日午後2時頃、クリチバ市アグア・ヴェルデ地区（Agua Verde）アマゾナス通り（Rua Amazonas）とパラナグア通り（Rua Paranaguá）の交差点付近で男性が強盗に射殺された。犯人は車内で休憩していた男性に銃を突きつけ、金銭の要求をしたが、男性が抵抗したため射殺し、男性の車両と所持品を盗んで現場から逃走した。その後、警察は3人の容疑者を逮捕した。

- (3) 11月1日午後0時半頃、クリチバ市セントロ地区ヒアシュエロ通り (Rua Riachuelo) ジェネロゾ・マルケス広場 (Praça Generoso Marques) 付近で銃撃事件が発生し、3人の歩行者が負傷した。白い車に乗った犯人が、無差別に歩行者に向けて20発以上発砲し、逃走した。被害者はすぐに近隣の病院に搬送され、治療を受けたが、いずれも命に別状はない。